

# 保育士の資質向上に関する調査研究報告書

— 平成17年度 —

社会福祉  
法人

日 本 保 育 協 会

## 執筆者一覧

野坂 勉 (大正大学名誉教授)

荻須 隆雄 (玉川大学教授)

須永 進 (藤女子大学教授)

門倉 文子 (なでしこ保育園園長)

中村 美喜子 (若葉保育園園長)

若山 望 (村山中藤保育園主任保育士)

# 序

本報告書は、独立行政法人福祉医療機構（子育て支援基金）の助成事業として、日本保育協会が平成17年度に実施した「保育士の資質向上に関する調査研究」の結果をまとめたものです。

近年、少子社会の到来に対応すべく「次世代育成支援対策推進法」「子ども・子育て応援プラン」等が策定され、子育て支援の主要な柱である保育所保育及びその担い手である保育士に社会的な期待が高まっています。

この調査研究は、保育所における保育士の資質向上に関する取り組みの実態等について調査し、保育サービスの充実と向上に資することを目的として実施したものです。

本報告書を、保育士の育成や現任訓練等を考える上で参考としていただければ幸甚に存じます。

この調査研究の実施に当たりましては、野坂勉先生（大正大学）、荻須隆雄先生（玉川大学）、須永進先生（藤女子大学）、門倉文子先生（なでしこ保育園）、中村美喜子先生（若葉保育園）、若山望先生（村山中藤保育園）の研究スタッフにご指導いただいたこと、また調査対象保育所の方々にご協力いただいたことに対し、心から深く感謝の意を表する次第であります。

平成18年2月

社会福祉法人 日本保育協会  
理事長 佐々木 典 夫

# 保育士の資質向上に関する調査研究報告書

(平成17年度)

## 目 次

### 執筆者一覧

### 序 文

I. 調査研究の目的及び方法	1
II. 調査結果の分析	5
〈調査協力保育所の属性〉	5
(保育所長)	10
1. 保育士の採用方法	10
2. 保育士が評価されていく背景	11
3. 保育士の出身による相違	12
4. 保育士の資格区分	15
5. 初任保育士の保育理念・方針への理解	17
6. 新任職員研修	17
7. 初任保育士の学習機会	19
8. 中堅保育士の保育理念・方針への理解	19
9. 保育士への助言指導・相談体制	20
10. 新採用職員に期待すること	21
11. 新任の段階から身につけてほしいこと	22
12. 初任保育士(新採用職員)についてどう思うか	22
13. 中堅保育士に期待すること	23
14. 保育所長として専門性を高めるためにしていること	24
15. 保育士の職務内容が煩雑化していることについて	24
16. 園内研修	26
17. 現任訓練	30
18. 外部の研修会への参加	31

19. 第三者評価 .....	37
<b>(経験年数5年以上の保育士)</b> .....	38
1. 保育士の経験年数 .....	38
2. 資格の取得方法 .....	39
3. 保育士養成校における実習期間 .....	39
4. 養成校はどのようなことに考慮すべきか .....	40
5. 保護者が中堅保育士に求めていること .....	42
6. 現在の仕事に満足しているか .....	43
7. 園の方針や園長の考えを理解し賛同しているか .....	44
8. 園長等の指導に納得できない時の相談相手 .....	44
9. 後輩の指導方法 .....	45
10. 本来の業務以外の仕事を引き受けるか .....	46
11. 園内研修 .....	47
12. 現任訓練の有無 .....	49
13. 外部の研修会への参加 .....	50
14. 保育士としての専門性を高めるためにしていること .....	53
<b>Ⅲ. 研究員の考察</b> .....	55
1. 荻須隆雄研究員による考察 .....	55
2. 須永進研究員による考察 .....	61
3. 門倉文子研究員による考察 .....	74
4. 中村美喜子研究員による考察 .....	81
5. 若山望研究員による考察 .....	92
<b>Ⅳ. 総合的考察と展望</b>	
野坂 勉研究員 .....	101
<b>付 録</b>	
・ 調査票 .....	121
・ 集計表 .....	137